

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通して、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



歯の付いたカムを持つロープクランプ

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
 - PPEに対して生じた特殊な状況を記録する
- (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000	
製造年	□
製造日	□
検査担当	□
識別番号	□

コード B:

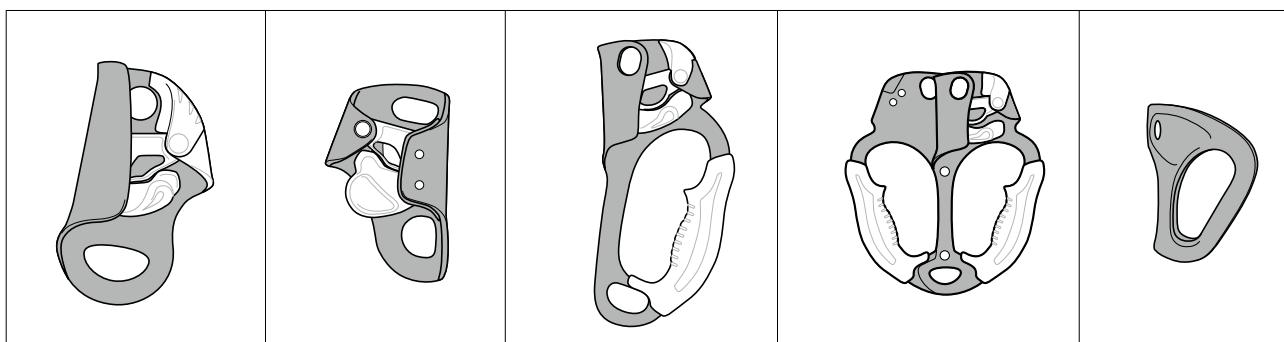
00 A 0000000 000	
製造年	□
製造月	□
製造番号	□
識別番号	□

耐用年数を超えていないことを確認してください。

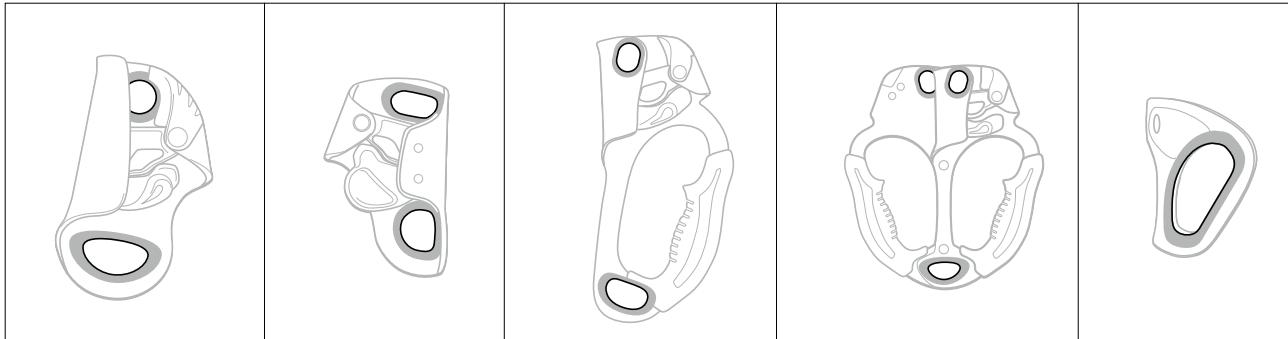
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3. フレームの状態の確認

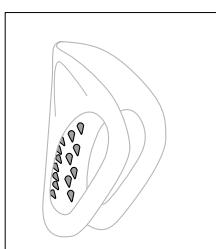
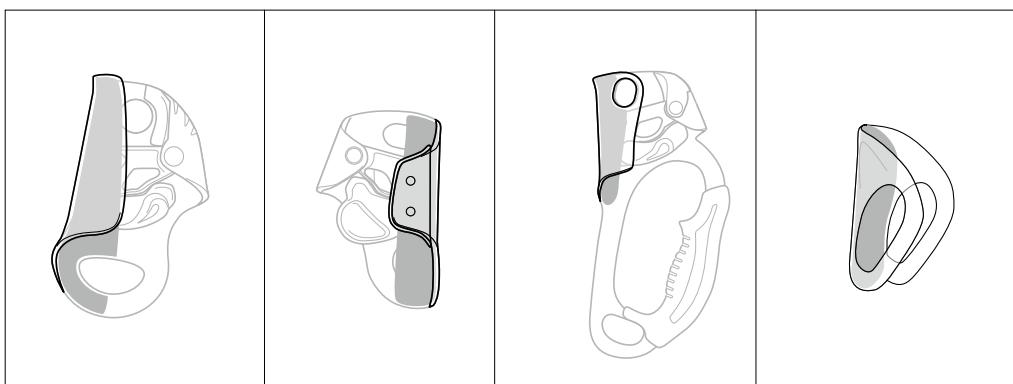
フレームの状態 (傷、摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。



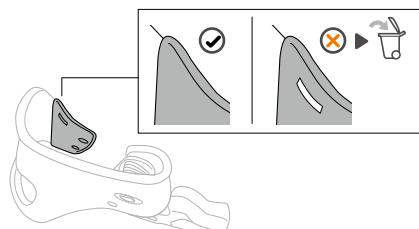
アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。



・ロープの摩擦による摩耗具合を確認してください。



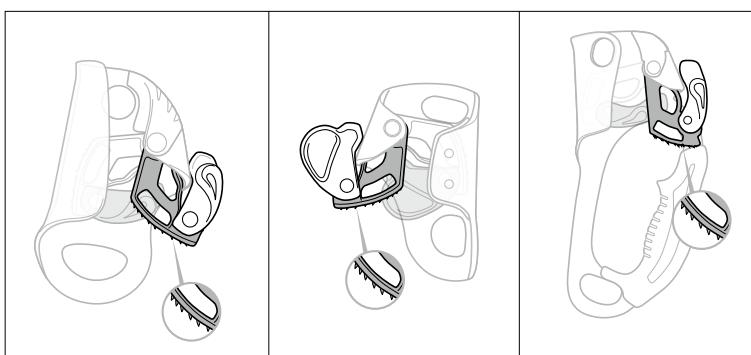
・『タイプロック』は、歯が欠けていないことを確認し、その磨耗具合を点検してください。歯が汚れていない状態にしてください。必要に応じて、ブラシで清掃してください。



・2017年2月以降に製造された『クロール』は、摩耗インジケーターが見えないことを確認してください。

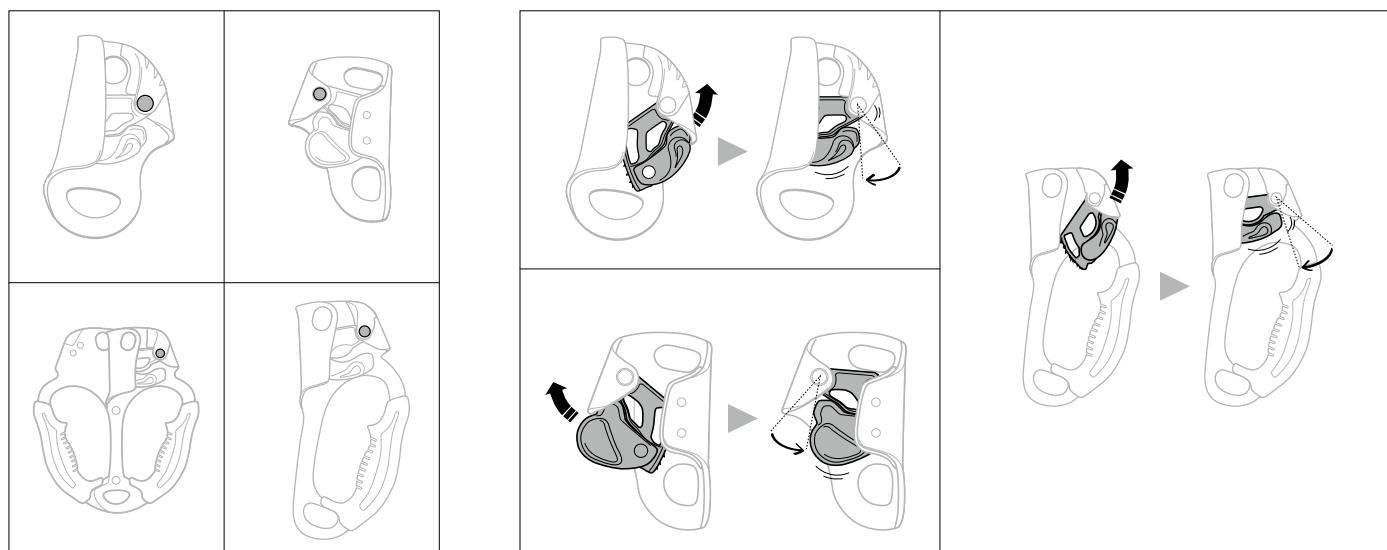
4.カムの確認 (『ベーシック』『クロール』『アッセンション』および『アッセンツリー』のみ)

・カムの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください歯が欠けていないことを確認し、その磨耗具合を点検してください。歯が汚れていない状態にしてください。必要に応じて、ブラシで清掃してください。



- カムの軸およびリベットの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

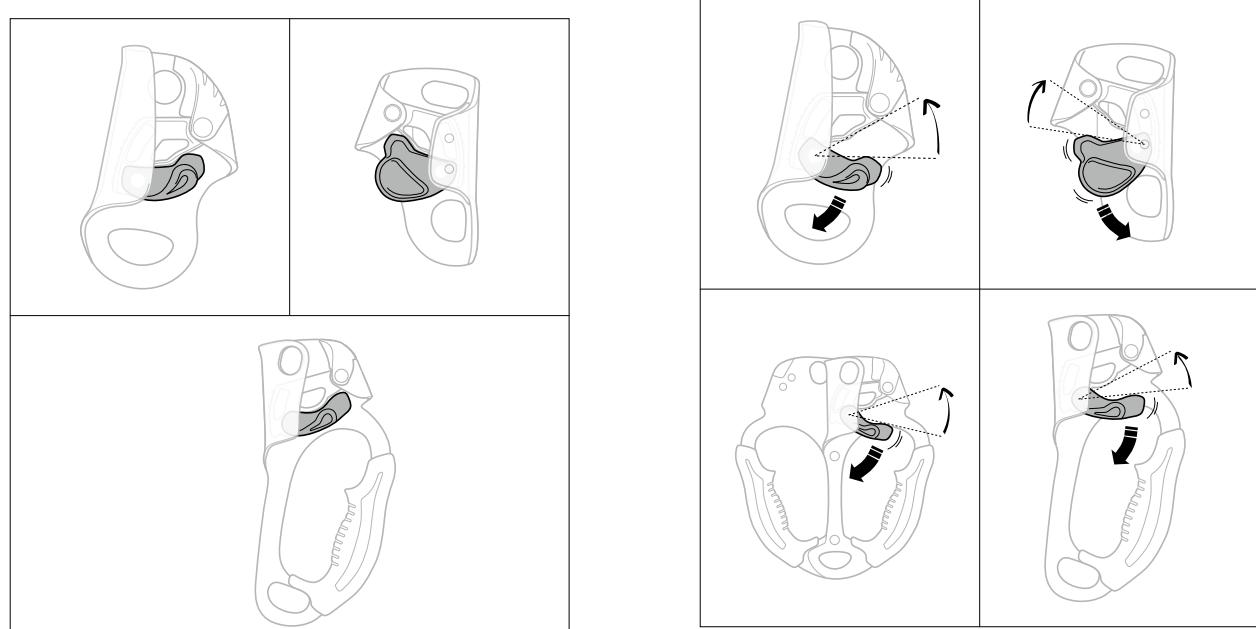
- カムの回転およびスプリングの戻りを確認してください。



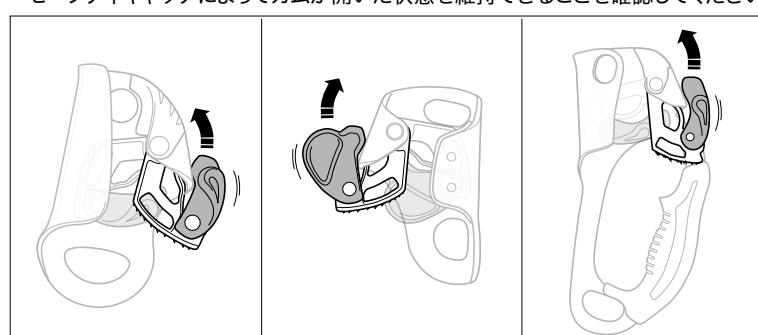
5.セーフティキャッチの確認 (『ベーシック』『クロール』『アッセンション』および『アッセンツリー』のみ)

- セーフティキャッチおよびその軸の状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

- セーフティキャッチのスプリングの戻りを確認してください。

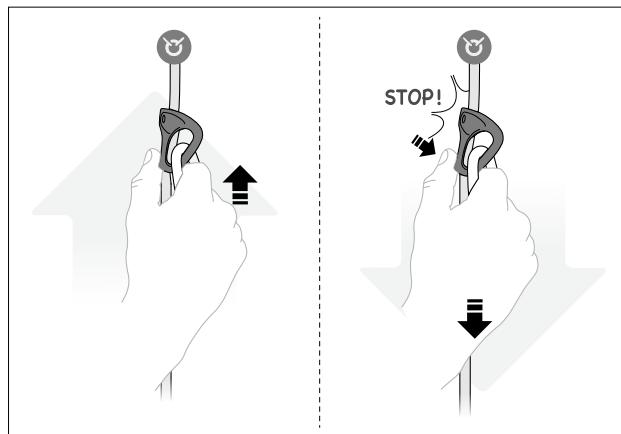
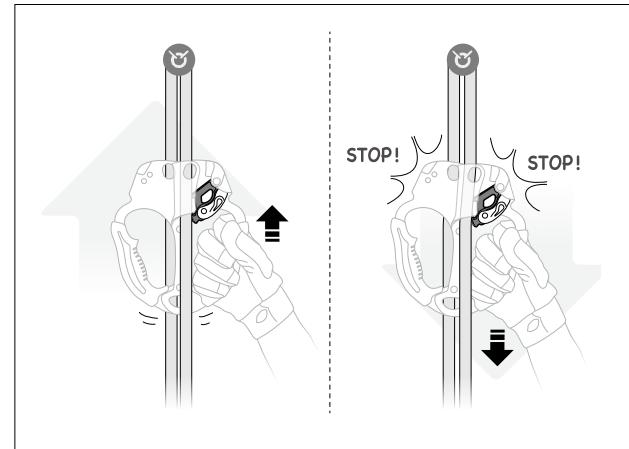
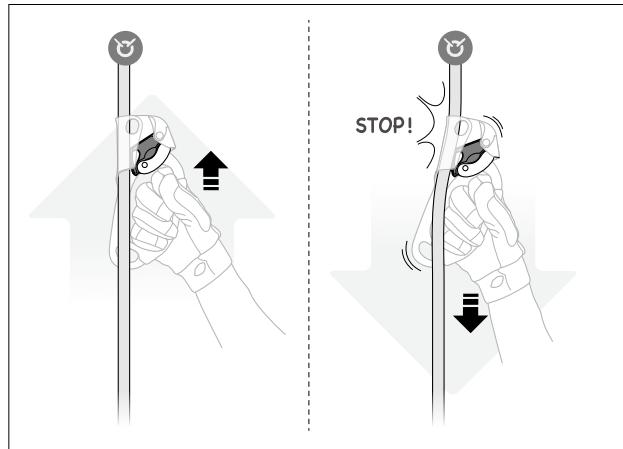
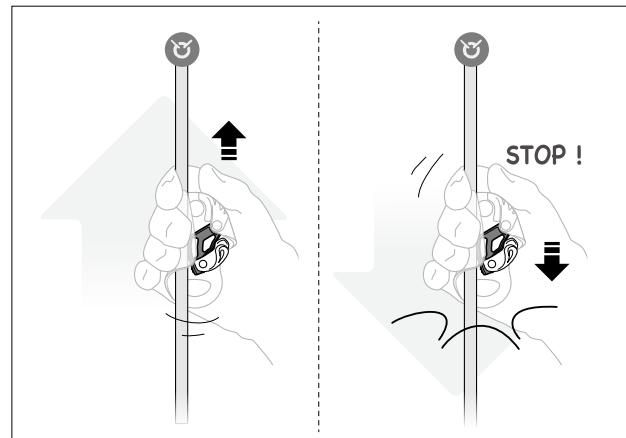
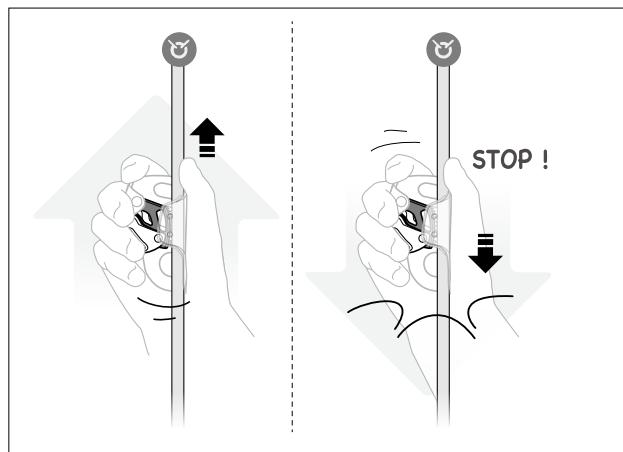


- セーフティキャッチによってカムが開いた状態を維持できることを確認してください。



6.機能確認

ロープ上を一方にはスライドし、反対方向に引いた場合にはロックすることを確認してください。



補足情報 1.過度に摩耗するなどして廃棄が必要なロープクランプの例

・破損したカム



・ひびの入ったカム



・錆びたカム



・フレームの傷



・ひびの入ったフレーム



・変形したフレーム



・過度に摩耗した歯



・ロープの摩擦による摩耗



・摩耗インジケーターが見えている



・アタッチメントホールの損傷



・歯に汚れのついた器具

